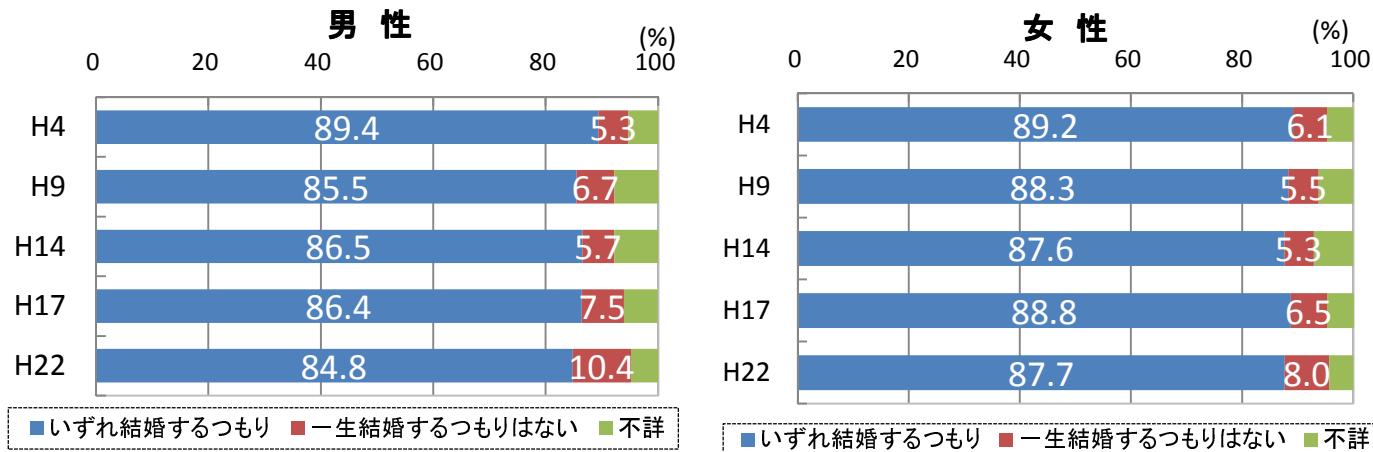


3 若者の結婚意思と雇用環境の悪化

(1) 生涯の結婚意思(18~39歳未婚者)(全国)

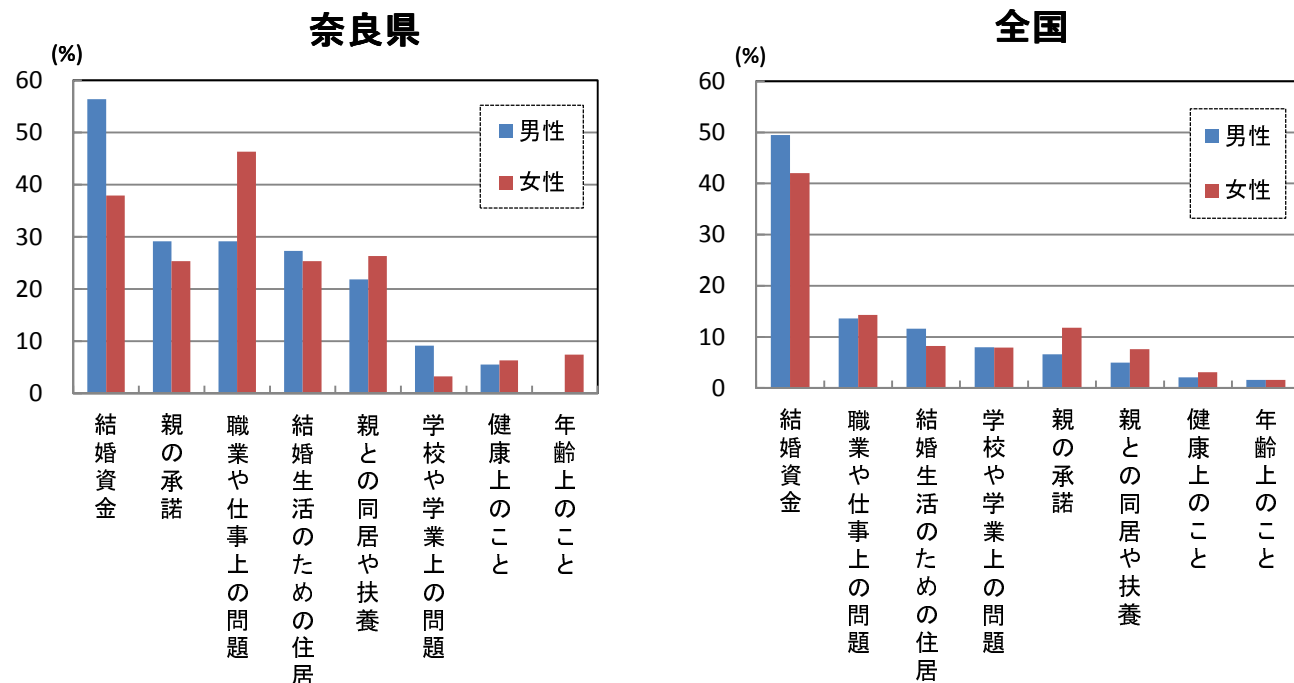
○「いずれは結婚しようと考えている未婚者の割合」は、男女ともに、9割弱で推移しており、依然として高い水準。
 ○若者の結婚願望は、決して低いわけではない。



第14回(H22)出生動向基本調査(国立社会保障・人口問題研究所)

(2) 結婚の障害の内容(20~39歳未婚者)(奈良県・全国)

○「1年以内に結婚することとなった場合、何か障害になることはあるか」に対し、全国では男女とも約7割が「障害がある」。
 ○障害の内容は、全国では、男女とも「結婚資金(挙式や新生活の準備)のための費用」が他の項目と比べて突出して多く、奈良県の男性も同様だが、奈良県の女性は「職業や仕事上の問題」が最も多い。

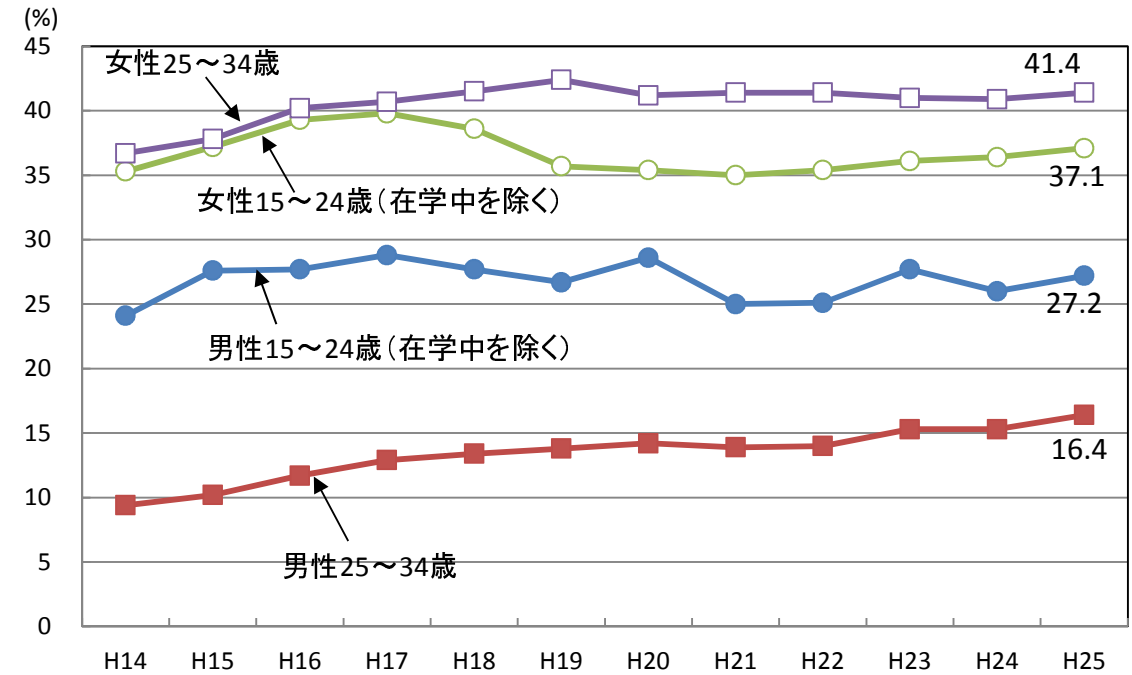


[奈良県]平成25年度奈良県子育て実態調査(子育て支援課)

[全国]第14回(H22)出生動向基本調査(国立社会保障・人口問題研究所)

(3) 若年層の非正規雇用労働者の割合の推移(全国)

○若年層の非正規雇用の労働者は増加している。
 ○15~24歳(在学中を除く)の男性の約3割は非正規雇用であり、25~34歳の男性でも約6人に1人が非正規雇用となっている。

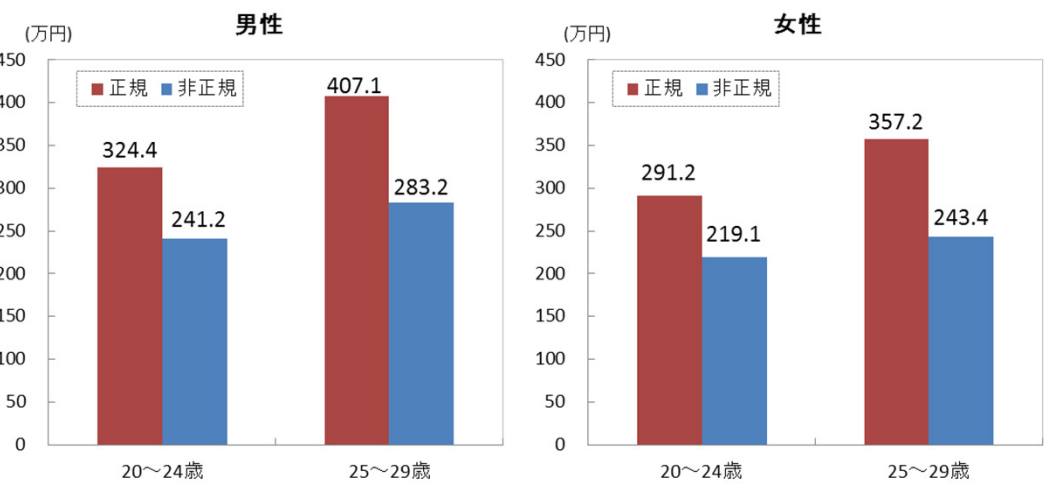


労働力調査(総務省)

※東日本大震災の影響により、平成22年の数値は補完的に推計した値(2010年国勢調査基準)である。

(4) 雇用形態別20歳代の年収(男女別)(全国)

○20歳代の正規雇用と非正規雇用の年収を比較すると、いずれの年齢区分でも、正規雇用の年収の方が高い。



「非正規」は、「正社員・正職員以外」の雇用で、短時間労働者以外も含む。

平成25年賃金構造基本調査(厚生労働省)※10人以上の企業(民営・公営)